



# 富士特だより

【めざす学校像】

児童生徒一人一人の自立を育てる

笑顔あふれる学校

富士見市立富士見特別支援学校

令和4年5月2日(月)第2号

ここ、富士見特別支援学校は、  
日々成長、そして感動の宝庫です！

令和4年度がスタートし、早1か月。子どもたちも少しずつ毎日の動きに慣れ、学校生活も軌道にのってきました。

毎朝9時少し前から昇降口がざわつき始めます。小・中・高の3つの学部棟が離れて建っていますが、登校時間は全教職員が一斉に子どもたちの登校を出迎えます。まずは、4台のバスから子どもたちが降りてきます。自主登校といい、自転車や徒歩で通学する子どもたちもいます。保護者の車で登校する子どもたちもいます。

そして、「おはようございます。」と元気な挨拶が飛び交いますが、そこには、子どもたちそれぞれの朝の挨拶があります。にこりの笑顔、ちらっと目をみて、大きな声で、小さな声で、音声のボタンを押して、グータッチやジェスチャーで…それぞれのやり方で挨拶を交わします。先生たちも明るく元気に子どもたちを迎えます。今日はどんな♡で子どもたちは登校するのでしょうか。顔色から、声の具合から、歩く速さから、動きから…(今日はいつも通りだな。いやいやバスを降りるのをぐずっているぞ、何かあったかな？うきうきモードだぞ。)朝の出会いから、今日という一日のスタートです。

そして、昨日より今日、今日より明日、時には昨日に戻ってしまうこともあるけれど、また一歩できることが増えたり、同じことでも繰り返しおこないそれが定着したり。子どもたちは日々成長し、進化していることを実感します。

私はこの風景が大好きです。何より子どもたちが今日も元気に登校できたこと、そしてそれを迎える先生たちと個々とのやりとりをする姿をみていると何ともいえず、思わず笑顔になってしまいます。毎日のこのあたりまえの風景に、ひとり感動しています。

まさに、一人一人の自立を育てる笑顔あふれる学校・・・富士特の自慢の風景です。

☆彡 ~ ☆彡 ~ **運動会のスローガンが決定しました!** ~☆彡 ~ ☆彡 ~

ファイト!みんなで  
ベストをつくして  
たのしもう!

3つのスローガンの案から子どもたちの投票により、このように決定しました。

これから運動会練習も始まります。本番をめざして、今年も子どもたち一人一人のがんばりをご期待ください。

# 4月の取り組み

## 新しい仲間たち

小学部1年生は、しばらく短縮日課で過ごし、少しずつ学校に慣れてきました。

最初は緊張していた様子も見られましたが、だんだんリラックスをした表情で活動を楽しんだり、着席して話を聞いたりできるようになってきています。25日から給食も始まりました。みんなすっかり「ふじみっこ」です。

中学部1年生は9名と転入生1名を迎えてスタートしました。新しいメンバーとともに学校探検をしたり、運動や学習をしたりして、学部の日課に慣れてきました。

高等部では、新1年生7名を迎えました。新入生を迎える会では、先輩たちが司会進行役を行い、自己紹介をしたり、みんなでダンスをしたりしました。高等部では進路を意識した活動も多く入ってきます。

朝トレや自立活動、職業の授業など、個に応じた学習を頑張っています。



## 中学部 校外学習

27日(水)に上尾丸山公園に行ってきました。スローガンは「みんなでなかよくマナーを守って楽しもう!」です。事前学習ではみんなでしおりを作ったり計画を確認したりして、期待を膨らませてきました。前日には雷雨の予想でしたが、当日になってみると雨もあがり、良い天気でした。

自然学習館や小動物コーナーで学習をすることができました。



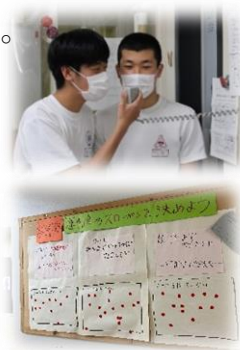
## 運動会に向けて

今年度の運動会は、中学部・高等部が合同で5月20日(金)に、小学部が27日(金)に開催されます。

表面に発表されたスローガンは3つの候補を高等部が考えて、廊下に掲示し、全学部みんなに投票してもらいました。その結果を全校放送で流し発表をして、少しずつ運動会に向けての気持ちも高まってきています。

今年度も分散開催で行いですが、みんなでベストをつくしましょう!

※運動会の保護者参観は各家庭2名までとなります。延期日にも雨が降った場合、体育館での開催となりますが、その場合、保護者の参観はなしとなります。



## 情報あれこれ

### 教員配置について

- ・若手指導非常勤講師として、川勝義彦が年間60日と竹内春夫が年間40日間配置されています。
- ・初任者指導非常勤講師として、年間14日間、小学部に下実穂、景山朋子、高等部に内田真奈美、倉持通子が配置されています。

### 新型コロナウイルス感染症による小学校等休業対応助成金・支援金について

- ・国・県より、学校の臨時休業等によりお子さんの世話を保護者として行うことが必要となったため、仕事ができなくなっている子育て世代を支援する制度について再度連絡が来ています。詳しくはインターネットで「小学校休業等対応助成金」または「小学校休業等対応支援金」を検索し、厚生労働省のHPをご覧ください。

### 授業参観について

- ・1学期の授業参観(運動会を除く)は各家庭1名の参観で願致します。